

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-25°C ~ +85°C	保存温度範囲	-10°C ~ +60°C		
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	電線サイズ	-		
	電 流	2 A	適合ケーブル	-		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 A で測定する。	15 mΩ以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	○	
	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	φ0.68 <sup>+0.003</sup> <sub>0</sub> の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.2 N 以上	○	—	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 25 N以下(ロック機構を除く)	○	—	
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 30 mΩ以下	○	—	
耐 振 性	耐振性	周波数 10~55~10Hz/サイクル, 振幅0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	衝撃	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	100N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 °C, 湿度90~95 %中に96時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	温度サイクル	温度 -55°C →常温 → +85°C →常温 時間 30 →2~3 → 30 → 2~3 分 を5 サイクル試験する。	①絶縁抵抗:100MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 +85 °C中に96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐寒性	温度 -55 °C中に96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10°Cで5±1秒間ディップ部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。	○	—	
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10°Cで2~3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなしはんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—	
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—	
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
Q						
備考	試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)			承認	HY. KOBAYASHI	18.02.22
				検 図	HY. KOBAYASHI	18.02.22
				担 当	TY. SUZUKI	18.02.22
				製 図	HM. SAITO	18.02.20
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-119579-31-00		
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	LF07WBRB-3SD(31)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-1025-0-31	△ 1/1	